

学び合いのポイント

■毎回すること

◆説明の仕方

- 一文を短く話す
- 「初めに」、「次に」、「そして」、「つまり」など順に話す
- 式の一つ一つに何を求めたのかを話す
- 図、数直線など、どの部分が何を表しているのかを話す

◆学びを確かめる

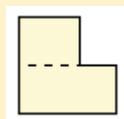
- 友だちの説明を自分の言葉で確認し直す
- ポイントとなる解き方について話し合う（その考え方は数字が変わっても使える考え方か）
 - 例① $1\text{ km} - 500\text{ m} = \times$ $1\text{ km} = 1000\text{ m}$ $1000\text{ m} - 500\text{ m} = 500\text{ m}$
 - 計算するときは“単位をそろえる”ことがポイントだね！
 - ② 直角三角形の面積は“長方形の面積を求めて半分に分ければ求められる”ね
- ×答えが合っているかのみを確認する
- ×説明が長い
- ×友だちの説明を自分の言葉で説明できない

■答えがちがうとき

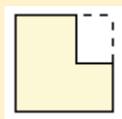
- 何がちがうのかを話し合う
 - 例：なぜ～～の部分は、この答えになったの？
- 間違えた人は何を間違えたのかを確認して話す
 - 例：わたしは「1 kmは 100m」と考えていたことが間違っていた。「1 kmは 1000m」だから、計算し直すと、式は～～～になるから、答えは○○になるね。

■答えは一緒に考え方がちがうとき

- よりよい考え方や、それぞれの考えのよさについて話し合う
 - 【○】はやい、簡単、わかりやすい、新しい考え
 - 【△】めんどろ、式や図がややこしい
- 例① 帯分数で計算するのではなく、仮分数に直してからたし算すると簡単にできるね
- ② 98×5 の計算は大変。98 を 100 と考えて $100 \times 5 - 2 \times 5$ で計算するとはやく計算できるね
- ③ 赤色チーム対青色チーム・・・と書くのは面倒。⊖ × ⊖ と書く方が楽だね
- ④ 問「色のついている面積を求めなさい」



分けてたず考え方



全体から引く考え方

そんな考え方もあるんだ！
他にも考え方があるかも！！



- 共通している考え方は何かを話し合う